

この研究会は、公衆衛生分野で活動する方の実践や研究に役立つテーマで講師にご講演いただき、意見交換や交流の場を持つことを目的としています。共に楽しく学び交流できればと思いますので奮ってご参加ください。

東日本大震災で自宅を失った高齢者の “この先”を新しく描き始める経験に関する質的研究

東日本大震災に被災されたにも関わらず、震災3年から3年8ヶ月後の時点で精神的に良い状態にあると考えられる高齢者は、“この先”を新しく描き始めていました。被災された高齢者が、どのような経験を経て、“この先”を新しく描き始めたのかについてお話しします。

講師 松永篤志氏

東北大学大学院医学系研究科 地域ケアシステム看護学分野

☆2018年 7月19日(木) 18時～20時
☆東北大学医学部 星陵会館2階 大会議室
☆参加費 無料

- ・研究会に参加ご希望の方は、所属とお名前を記入し、**7月13日(金)**までにFAXまたはEメールにてお申込ください。
- ・ご連絡いただければ研究会の情報を継続してご案内いたします。
- ・基本的には、隔月(5月・7月・9月・11月・1月・3月)の第3木曜日18時～20時に開催予定です。

【申し込み・問合せ先】

東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 公衆衛生看護学分野
公衆衛生看護学分野研究会 事務局(菅野・松永・竹田)

E-mail: pubnurse@med.tohoku.ac.jp TEL/FAX: 022(717)7931